



瓦葺小だより

上尾市立瓦葺小学校

上尾市大字瓦葺2260番地

TEL 048(721)4618

FAX 048(721)9723



校長 三上 義仁

特別臨時号 令和7年3月25日発行

瓦葺小学校第50回卒業証書授与式 校長式辞

校長 三上 義仁

式 辞

春の息吹が感じられる今日このよき日に、上尾市長 畠山 稔様、上尾市教育委員会教育長職務代理者 内田 みどり様、上尾市議会議員 平田 みち子様、学校運営協議会の皆様を始め、保護者の皆様方には公私とも御多用の所、瓦葺小学校卒業証書授与式にご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

ただ今、卒業生一人一人に小学校の全課程を終了したことを認め、卒業証書を授与いたしました。卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。今、皆さんが手にしている卒業証書は、小学校生活六年間の成長の証です。卒業という今日を迎えられたのは、自分自身の頑張りはもちろんですが、家族の方、地域の方、友達そして先生方の温かい支えが必要です。ですから、この周りの方への感謝の気持ちを忘れないでください。

さて、本校を巣立ちゆく卒業生の皆さんに今から饒（はなむけ）の言葉を二つ心を込めて贈ります。

一つ目は、『しっかりと**体**をつくろう』です。

皆さんもよくご存じの、メジャーリーガー大谷翔平選手は、作シーズンも大活躍でした。振り返ってみると、大リーグ史上初のシーズン「50本塁打、50盗塁」を達成しました。このような記録に留まらず、ワールドシリーズ制覇に貢献し、ナ・リーグMVPを受賞しました。しかも、ロサンゼルスでは、5月17日を「大谷の日」に制定したそうです。すごいですね。

今年は、リハビリしていた肘も復活して、さらにピッチャーとしても活躍が期待できそうです。

ところで、卒業生の皆さん、校長先生が『六年生を送る会』で話した内容をしっかりと覚えていますか。「大谷選手になれる」もしくは「大谷選手に近づける」ための体つくりの話をしました。

是非、皆さんもカルシウムをしっかりとって、何でもたくさん食べて、いっぱい運動や勉強をして、大きな体を作って欲しいと願っています。

二つ目は、『**夢**をあきらめな』です。

日本のプロ野球 中日ドラゴンズの樋口正修選手は、私の息子と同級生で、小学校1年生からともに地域の少年野球チームに入団し、6年間も一緒に活動してきました。小学校時代は、バッターとしては、球速に力負けし、投げては決して肩も強い方ではなく、走っては普通という、どのチームにもいるような、ごく平凡な野球少年でした。中学校でもベンチ入りさえできないこともありましたが、それがどうしてプロ野球選手になったのでしょうか。それは、昨年度の学校だよりも紹介いたしました。まずは、お父さんの我が子への信念です。どう見ても、お父さんとお母さんのごく普通の体形からしても、プロ野球選手にさせたいなんて、誰しもが思うはずがありません。しかし、特にお父さんの強い信念と熱意が家族をワンチームにさせて本人をやる気にさせました。その分、練習量も何倍も多く取り組んできました。とは言え、幾度も目の前に立ちはだかる、ぶ厚くて高い壁にぶち当たりました。その時の相談役がお父さんです。ある日、正修は「お父さん、ベンチ入りできない俺はレギュラー選手と比べて、何が足りない？」と聞いたそうです。それに対して、普通ならば現実からして、肩が弱いとかパワー不足とか、足が遅いとか言いそうですが、彼のお父さんは決して我が子を否定せず、「おまえには、何かが足りないんだろうな。でも、彼らは今がピークかもしれないけど、おまえのピークはこれからじゃないか。他の人よりこれだけやってんだ。続ければ彼らを超す時が必ず、来るよ。」と言ったそうです。正修は今でもその言葉を信じ、ワンチームの家族の声援を受けて、日々、努力を続けています。

一般的に、子供も中学生や高校生になれば、夢から覚めて現実を見て生きていくケースがほとんどだと思います。例えば、今まではセンスが良くてチーム内でエース級であっても、新しいチームで、自分より数段体がでかく俊敏な人がいれば、その瞬間に気持ちが萎えて、プロ野球選手という夢どころかレギュラー獲得という目標すら砕け散るのが現実でしょう。

卒業生の皆さん、これからの長い人生の中で、思ったとおりにいくときもあれば、いかないときもあります。どうにもうまくいかないからといって、決して悲観的に考え込むのではなく、夢をあきらめないでください。常に、惜しめない努力を続けて、やがては、**世界**に羽ばたき、活躍されることを願っています。

保護者の皆様、お子様の御卒業、誠にありがとうございます。六年前、小さな子供たちが大きなランドセルを背負い、桜咲く校門をくぐり抜けてから、あっという間の年月が経ちました。この立派に成長されたお子様に前に感慨もひとしおのことと存じます。四月からは、中学生です。新たな中学校生活と輝かしい前途を、教職員一同、祝福するとともに、今日まで、本校の教育活動に御理解と御支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

結びに、本日御臨席いただいております、すべての皆様の御健康と御多幸を心より御祈念申し上げ、式辞といたします。

令和七年三月二十四日

上尾市立瓦葺小学校長 三上 義仁